

SHARE HOUSE



日時：2013年3月30日(土)午後3時より | 場所：ギャラリー GALA | 話し手：向島シェアハウスの住人たち(人数不定)

寂しさは若者の特権。ひとり暮らしはジジババの特技。ひとつ屋根の下で暮らすことは、「同じ釜の飯を食う」と同義ではない。各自が外食して、寝に帰るだけだって、りっぱな「ひとつ屋根の下」である。村社会が大手を振っていた時代の若者宿なら、なかさぐさいくらでも変わらない年長者がいて、「昔からのおらがムラの掟だから……」と、大きな顔をして、同宿者の自由な外食を制限した。どこかで、誰と何をしようと、同宿者の行動に茶々を入れられないのが、我がシェアハウスの住人たちである。

先のないジジババの話は、このさい、省こう。この乱世を向こう岸まで、きり切りたいほどであればいいのか、そのことをコトバにして表せるぐらいなら、苦は飛んでいくのだが、世の中、なににつけ、時間がかかるものだ。無言の者同士がツバのかかる距離にいるだけでも、救われるのである。住人の動きが指針になったり、「俺よりも惨めなヤツだ」と写ったならば、こちらの負けにすらなるのだった。

まあ、そんなけちくさい計算は、きにして、のたうち回る仲間の姿は、いとおもしろいものである、と思いたい。生涯をこの面子で過ごすわけでもなし、ひとさまに迷惑かけるわけでもなし、何をやってもいいではないか。ソロバン抜きでのたうち回る者たちこそ、時代の申し子である、と誰かが叫んでいた。



会費

カンパ制(任意)

場所

ギャラリー GALA

世田谷区梅ヶ丘 1-26-5-2F (小田急線梅ヶ丘駅南口徒歩1分)

<http://www.gala-fudoki.com/>

参加 連絡

090-4713-1299 (稲垣一雄)

080-5085-2477 (橋爪太作)

info@tokarajuku.sakura.ne.jp

主催

文化結社トカラ塾 (<http://www.tokarajuku.sakura.ne.jp/>)

